

清川村教育委員会会議録

日 時 令和3年2月25日(木) 午前9時から11時30分
場 所 せせらぎ館3階 研修室
出席委員等 教育長 山田一夫、職務代理者 橋本直人、委員 加藤しのぶ、
委員 今野郁夫 委員 石川富美子
事務局 (井川参事兼指導主事、山田生涯学習課長、相原学校教育
課長、南波指導主事)

議事日程

1. 開会
2. あいさつ
3. 案件
 - (1) 前回会議録の承認について
 - (2) 教育長の報告
 - (3) 議案第2号 清川村立小中学校長及び教頭の任免内申について
 - (4) 教育支援委員会審議結果(第2回・第3回・第4回)
 - (5) 令和3年度当初予算の概要について
 - (6) 基礎・基本の確認テスト分析・考察等について
 - (7) 卒業(園)式・入学(園)式について
 - (8) 今後の学校施設のあり方及び維持管理方針等について
 - (9) その他
4. 次回の会議日程
5. 閉会

開会 (午前9時)

教育長あいさつ

めっきり春らしくといたしますか、三寒四温といたしますか、野山の木々も芽吹いてきたような雰囲気になっています。宮ヶ瀬小中学校に昨日行ってきましたが、校庭の河津桜が満開で春らしい陽気でした。まだ肌寒い日もありますが、こうして季節がうつろいに行くのかと思っています。新型コロナウイルスでは、ワクチン接種が医療関係者を中心に始まりました。私たちにまわって来るのは、いつごろでしょうか。4月中旬には65歳以上という話しも出ています。今後、順番にワクチン接種も進んでいくと思っています。2月は学校のまとめの時期です。高校入試も終わり、後は発表を待つだけです。そして、いよいよ卒

業、進級を迎えます。さて、今日は案件が多いので、よろしくお願ひします。

案件（１）前回会議録の承認について

- ◎ 別紙「資料１」会議録（案）のとおり、承認されました。

案件（２）教育長の報告

- ◎ 教育長から別紙「資料２」により、教育長の動向について報告しました。

*質疑なし

案件（３）清川村村立小中学校長及び教頭の任免内申について

この案件については、人事案件を取り扱うことから審議を非公開とします。

- ◎ 事務局から別紙「資料３」により清川村村立小中学校長及び教頭の任免内申について説明しました。
- ◎ 審議の結果、異議なしで、原案のとおり承認されました。
*審議は、非公開のため意見等は会議録には記載しません。

案件（４）教育支援委員会審議結果について

この案件については、個人情報を取り扱うことから審議を非公開とします。

- ◎ 事務局から別紙「資料３-１」により教育支援委員会審議結果について説明しました。
- ◎ 審議の結果、異議なしで、原案のとおり承認されました。
*審議は、非公開のため意見等は会議録には記載しません。

案件（５）令和３年度当初予算の概要について

- ◎ 事務局から「資料４」により当初予算概要について説明しました。

委員 ICT関連で、デジタル教科書の話が出ていて、学校の要望はあるのか教えて欲しい。

事務局 予算を作るにあたって各学校・園に事前に予算ヒアリングをしている。幼稚園、小中学の要望を精査し、予算要求している。

事務局 文部科学省でデジタル教科書実証授業というのを来年度行う。緑小学校、宮ヶ瀬小中学校から要望があったので、応募した。タブレットとの相性も良く、タブレットで教科書を取り込みながら授業ができる。また、紙の教科書も例年通り配られるので、見比べができる。ただ、パブリッククラウドにアクセスし、ダウンロードして見るという形なので通信容量との兼ね合いについても実証授業の１つである。また、副教材につい

て、先ほど社会科副読本改定の予算を報告したが、改訂委員会の意見として「2次元コードを副読本に配置し、小学校の教科書のように、2次元コードを読み取ると写真や動画が出てくるのが出来ないか」というのがあった。他の自治体ではデジタル副読本を企業が開発しているところもあり、そういう情報も集めながら進めていきたい。

委員 給食センターの管理事業で、地場産購入に係る予算が消耗品費になぜ入っているのか。

事務局 村の財政科目の振り分け上、材料費は消耗品費という科目の振り分けになっています。

委員 地場産の購入という特色ある事業なので別に事業立ててやった方がよい。

事務局 令和4年度は検討します。

委員 社会教育の関係で、男女共同参画の啓発講座と生涯学習講座の内容を教えて欲しい。

事務局 啓発講座については、初年度、初めてなので「男女共同参画は何か」など基本的なところの講演を予定している。生涯学習講座については、需要的にどんなものがあるかも含めた中で検討していきたい。「英語の教室や俳句を広めたい」などで意見もある。一つの講座、予算的には9回分あるので、継続的にやりたい。どの講座にするかは、検討中である。

委員 社会教育の夏季学校プールの開放事業であるが、以前から設備の老朽化で修繕の費用もかかり、継続していくのに負担になる事業である。また、今年の夏は相当暑いと予想され、炎天下でのプール開放は本当に良いのか。また、近隣の施設、荻野運動公園のプールを借りることや使用料の割引に変える考えはあるか。

事務局 その方向性も考えている。学校の授業でプールを使用している間は、それだけでは、もったいないので一般開放をしている。また、今後、学校がプールを使わなくなった場合、近隣のプール施設の利用助成券を配付しての利用も考えている。

委員 説明資料のICT教育のこの表は分かりやすく、事業概要のところ「備品購入のみで終わらず授業参観や「学校に行こう週間」を利用して周知の機会を持つことにつなげていく」の記述はよい表現だ。保護者に周知することで、しっかりした事業になっている。その中でアップルTVと表記してあるが、これは何か。

委員 アップルTVはソフトなのか。

事務局 商品名がアップルTVとなっている。

委員 テレビですか。

事務局 テレビではない。テレビとタブレット、パソコンを中継する機械であり、商品名がそうになっている。

事務局 緑小学校はICTの授業を積極的に進めていきたいと予算要望も上位にあげている。また、予算額も大きいので周りの理解も必要である。来年度、ICTの授業を保護者、教育委員さんにも学校訪問の際に成果を見ていただきたい。保護者も教育委員さんも実際に見てもらった方が分かりやすい。そういう機会を作ってもらうように話している。

案件（6）基礎・基本の確認テスト分析・考察について

◎ 事務局から「資料5」により基礎・基本の確認テスト分析・考察について説明しました。

委員 成績と生活態度のクロス集計について、一般的に生活態度が成績に影響すると言われているが、実際はどうか。

事務局 意識と意欲は密接に関連している。意識が低くなると家庭での学習時間も少なくなるなど大きく影響している。この調査の結果から「家庭で社会情勢について話をしている」「家の人が自分の活動を応援してくれている」など家庭の愛情をたっぷり受けていると感じ取れる。それは、温かい清川だからだと思う。しかし、それが学習に結びついてない子が多いので学年によって、テスト結果のばらつきになっている。

委員 自分がタブレットで家庭学習をするとき、「どうやって活用し、自分の頭の中に入れ、考えるのか」と思った。昔は、書き、読み、新しいものには、関連した書物を読んで解決した。今は、タブレットで普通だったら手に入らないような知識やいろんな状況が入ってくるが、それを自分の中で、どの程度まで勉強して身に付けていくのか。教室で子供たちは、タブレットの使い方に長けているが、ノートをとっているか。ノートの取り方で知識が頭に入ってくる。「今後どのようにしていくか」もノートを見てやれた。タブレットは、「正解が出てよかった」で終わってしまう。積み重ねてやったものが、後になって良かったと思う部分になっている。タブレットでの家庭学習も正解だから良かったで、終わりになってしまう。教育が進み、世の中がこういう動きだから、そうでなくてはいけないが、昔から勉強してきた過程を忘れられるのは少し怖い。そうすると自分の中に引っかかったものを家族で話し合うことも少なくなる。教科書もデジタルになったら、教科書に書き込むこともないので、頭に残らないのではいか。タブレットを扱うのを得意な子どもとそうでない子どもがいるので、授業参観に行ったときにタブレットでない授業も見せて欲しい。孫は、ローマ字をよく書いている。それをタブレットで覚えると、書かなくても

よくなる。頭に入るが手は覚えない。手や体を動かして覚えることが大切である。この確認テストの結果には、家庭学習や国語の結果にそれが表れている。子どもは、辞書引きと漢字の練習をすれば国語の勉強をしたことになり、数学は計算だけやればよいと思っている。だから、これでは、勉強したことにならない。テレビのところでは、テレビを1日中つけているが、テレビは見えていないという生活が反映している。ボールとバットを持って外で遊んで欲しい。

事務局 その通りで、私もボールとバットで、ボールを蹴って、走り回ってほしいと思う。デジタルで流れていってしまう危惧は学校も持っている。どれだけ時間を使ったか、苦勞したかが知識の定着に結びつく。手を動かす、五感を使って学習する大切さは、昔から言われてきた。その効果があることを実感している。タブレットだけで授業するのではなく、タブレットを使ってどういう学習効果があるか、教材研究をしてもらっている。教科書、ノート、鉛筆、タブレットを合言葉に教材の一つの道具として、いつもそこにあるという状況をこの一年で作ることができてきた。昨日も2年の研究授業を見たが、タブレットとアナログの効果を見極めながらやっていた。今後は、「タブレットを使うのか、紙に書き、色を塗るのか」を自分の考えで選択できると、社会に出て活用する力になっていくと思う。自分の疑問を話し合うことも大事にしながら、紙とデジタルの良さを今後も見極めていけたらと思う。リアルでないといけないことやリアルで効果があることは、リアルの世界でやっていき、効率化や時間の短縮ができて、より効果があるならタブレットを使っていくことになる。

委員 小学校、意識に関する調査で「家庭でゲーム機やスマホを使う時間のルールを決めている」に肯定的な回答は、4年生は良いが、5、6とだんだん下がってくる。これは、家庭での問題も大きい。中学校も同じ傾向である。家庭で子どもと話し合ったりルールを決めたりすることで、成果も出てきている。学校での学習も大切だが、家庭での学習の仕方もしっかり保護者に伝えて両輪でやっていかないといけない。

事務局 子どもを真ん中において家庭と両輪でということは大切である。家庭への啓発を学校と連携を取って、より効果的な伝え方を検討していきたい。緑小学校の授業参観で2年生がプログラミングの学習を行った。2年生が初めてプログラミング・ソフトを使って行ったが、スイスイ操作ができて、保護者からどよめきが起こったと聞いている。保護者に感動とともにこういう大事なところも伝えていきたい。

委員 教育委員会がICTをこれだけ準備しているので、家庭にPRして良い結果が出るようにしていきたい。学校で分析した、この冊子が一番重要だと

感じた。今、紙から ICT の過度期にあって、リアルなところは紙に戻るかもしれない。みんな迷いながらやっている。子どもたちに一番良い方法で教育できる状況を作らなくてはいけない。また、分析結果で国語辞典と漢字辞典を活用する機会が少ないとあるが、国語辞典と漢字辞典の購入はどうなっているのか。

事務局 国語辞典と漢字辞典は希望者が購入することが多くなっている。値段も高価なので保護者の負担削減ということもあり強制はできない。しかし、学習の機会を奪わないように学校の図書室には、国語辞典、漢字辞典が多く準備してあり、学習の時に使うことができる。国語の教科書にも辞書の使い方が載っていて、授業も行っている。

委員 新学習指導要領になり生きる力とか、プログラミング教育など新たな課題に対してどう取り組み、力をつけるか。新しくなっていくときに先生たちの指導がどうなるか。すべてなくしても教育だけは、残してあげたい。生活スタイルは家庭によって違うが、義務教育の中でつけられる力をつけてあげて、次のクラスに行けるような工夫ができればよい。この現状から一歩抜け出る工夫は、具体的にどのようなものがあるのか。子どもたちにとって教育は残るものなので、確認テストの結果はショックである。

議長 30分という家庭学習の時間、子どもたちは本当に学習していないのか。学校の宿題だけで、すぐに30分ぐらい経ってしまう。今は、宿題は出さない風潮なのかを知りたい。もう一つは、家庭学習はどうあるべきか、「家庭学習のすすめ」を学校で作っていると思うが、それを再度徹底していきたい。三つ目は、「村一斉読書の日」社会教育とも関連するが、家族、家庭で本を読む時間をつくる。そういうことをたち上げるのも一つの方法である。この結果から見えるてくる課題を解決する方策をいろいろ打つことができる。家庭も地域も学校も一体となったと言っているの、具体的に何をやるのかを示す必要がある。

事務局 家で子どもがスマホ、ゲームに没頭し、宿題をやらない家庭に「30分だけでも保護者も子どもと一緒にスマホ、携帯を使わない時間を設定してください。」と呼びかけた。その結果、保護者がその時間を子どもと共有し、勉強を見てあげ、宿題をやることができた。それに関連して読書も有効な手立てである。宿題がどの程度出されているかは、把握していないので学校に聞いてみたい。

委員 保護者が子どもに「学校でどんなことを勉強しているか」を聞いてあげるコミュニケーションが大事である。保護者の方から子どもに問いかける時間を作ってほしい。また、確認する時間も大事である。子どもとのコミュニケーションをとりながら関係づくりがあっても良い。学習の時間

をつくる方策だが、学習の時間とゲームする時間を決めてやっていけば
と思う。経験者が「どんな家庭教育をやってきたか」を今の保護者に話す
のも家庭教育の一つのヒントになる。

案件（7）卒業（園）式・入学（園）式について

- ◎ 事務局から「資料6」により卒業（園）式・入学（園）式について説明しました。
* 質疑なし

案件（8）今後の学校施設のあり方及び維持管理方針等について

- ◎ 事務局から「資料7」により今後の学校施設のあり方及び維持管理方針等
について説明しました。
* 質疑なし

案件（6）その他について

- ◎ 事務局から「青龍祭」及び別紙「資料8」により（仮称）清川村男女共同参画
基本計画（案）に対するパブリックコメントに係る意見の提出について説明しま
した。
* 質疑なし
- ◎ 事務局から別紙「資料9」により「令和3年4月・5月分行事予定表」につ
いて説明しました。
* 質疑なし

次回の会議日程

- ◎ 次回の教育委員会会議は、調整した結果、令和3年3月22日（月）に
総合教育会議を午前9時から行い、終了後に引き続き行うことで決定しま
した。（せせらぎ館3階 研修室）

閉会

橋本教育長職務代理者 閉会宣言（午前11時30分）

令和3年3月22日

教 育 長	山田一夫
教育長職務代理者	橋本直人
委 員	加藤しのぶ
委 員	今野郁夫
委 員	石川富美子